

ペガちゃんフロ1 「イングリッシュフォトウォークラリー」【小学5年外国語科】

ねらい	当所の活動プログラム「イングリッシュフォトウォークラリー」と小学校外国語科の「言語活動ウ話すこと〔やり取り〕」における「初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動」と関連させたプログラムである。「道案内」でよく使われる外国語を活用できる基礎的な技能を身に付けることをねらいとしている。
概要	グループで、「イングリッシュフォトウォークラリー」を行い、道案内に必要な英語での表現を用いてコミュニケーションをとり、必要な情報を伝え合うことができる。
よさ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段生活をしている学校やその周辺での道案内では見慣れた環境での活動になってしまうが、初めて来る施設で行うことで、リアリティーのある活動になり、学習の深化が図られる。 ○ 仲間で協力して取り組もうとする意識を高めることができる。 ○ ゲーム性のある「イングリッシュフォトウォークラリー」を行って道案内をすることで、楽しみながら意欲的に学ぶことができる。

- 校種・学年 小学校 第5学年
- 教科 外国語科
- 領域 ウ話すこと〔やり取り〕
- 展開 (例：135分)

過程	主な学習活動 ※ () …指導者	時間(分)	指導の手立て
導入	1 イングリッシュフォトウォークラリーの概要について説明を聞く。 2 学習のめあてをつかむ。(引率者) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Let's try an English Photo Walk Rally!</div> 3 各自の役割やゲームのすすめ方についてグループで話し合う。	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所員が概要を説明し、安全指導についても十分指導する。 ○ 引率者は必要に応じて説明を加える。
展開	4 グループごとにスタートする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ数に応じて時間差を付ける。 5 学習のまとめをする。(引率者)	100	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ編成は5人とし、フォト図が5枚あるので、リーダー役を交代しながら進める。 ○ フォロワーがリーダーに道順を質問し、リーダーがフォト図をもとに道案内をする。 ○ 途中問題があるので解答用紙に記入する。 ○ ティーチーズポイントでは、既習内容をもとに簡単な質問を全員にする。 ○ 引率者は、巡回や見守り場所において、単語や簡単な表現でも構わないので、英語でコミュニケーションをとり、情報を交換しながらフォトウォークラリーを進めるように声をかける。
終末	(1) 表彰を行う。 (2) 道案内をする上で、更に知っておいた方がよい表現などについて発表し、全体で共有する。 6 活動を振り返る。	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引率者は問題の解答や解説を行うとともに、児童・生徒のよかったところなど称賛の言葉かけを行う。 ○ 新たな課題設定を行うことで、次時の学習意欲を喚起する。 ○ 自己の学びを振り返り、自己の変容や成長を自覚させ、充実感や満足感を味わわせ、次の活動への意欲を高める。

- 事前に準備するもの
 - (自然の家)： 使用道具、引率者用地図
 - (学校)： 野外活動のしやすい服装、筆記用具、雨具